

2018年10月1日

監査役会通信(No.30)

社外監査役 堀口基次

リーダーに寛大さは必要不可欠

リーダーにはさまざまな成熟した品格が求められますが、特に寛大さは必要不可欠です。寛大さとは、人の失敗に同情する能力であり、相手をさばくことなく立て直すリーダーシップを意味します。寛大さの足りないリーダーは、周りにいる部下や同僚が期待した結果を残せないとがっかりし、次第に彼らと距離感を置く傾向が見られます。熱心に育ててきた同僚や部下が繰り返しがっかりさせるような行動をとるとき、愛の助け手を差し伸べるより厳しい忠告が先に出てしまい、関係に亀裂がはいることがしばしばあります。人が人を導くリーダーシップにおいては、寛大さなしに長期的な成功を期待することは難しいでしょう。振り返れば私自身は今まで関わってきた上司・先輩たちの寛大なケアなしには、ここまでこれなかったと思います。

自分自身が多く赦されたことを自覚するリーダーこそ、多くを赦し、また多くを助けられる人に変えられていくと思います。

気配りする企業に感激

朝日新聞のオピニオン欄に「就活生に気配りする企業に感激」との投書が掲載されていました。投書された方のお嬢様がある企業から内定をいただき、就活を終えたとのこと。この間面接日程が重なり、時間変更をお願いして、気持ち良く応じてくださる企業、その場で電話を切る企業と様々だったようです。

内定後、数社に面接辞退の連絡をした際、やさしく声をかけて下さる企業には、有名な起業が多かったとのこと。ある会社にお嬢様が辞退の意向を伝えたところ、「差し支えなければどちらに決まったかお教え願えますか」と尋ねられ、会社名を答えると「弊社と取引があるので、今度はお仕事でお会いできると思いますね。就活お疲れさまでした」と労ってくれたとのことだたいへん感激をされたようです。

今、当社もお取引させていただいている、またいただくとしている企業、関係者が増えてきています。傲慢にならず、相手に不愉快な思いをさせないよう**マナー**(礼儀作法 社会生活上で気持ち良く生活するための知恵、気遣い)・**エチケット**(個人に不快な思いをさせないよう気遣うこと)・**モラル**(倫理、道徳)・**ルール**(規則 必ず守らなくてはいけない決まりごと)をしつかり守り、大事に丁寧に対応していかなければいけないとこの記事を見て感じたところです。